

緊急対応マニュアル (東日本ブロック)

緊急時とは、自然災害・事故ケガ・熱中症・不審者・不審物・食中毒・荒天大会中止などが含まれる

< 大切なこと >

- 選手・参加者の安全確保 生命維持
- 情報確保と情報の共有
- 適切な対処と迅速な連絡
- 結果は必ずアナウンス

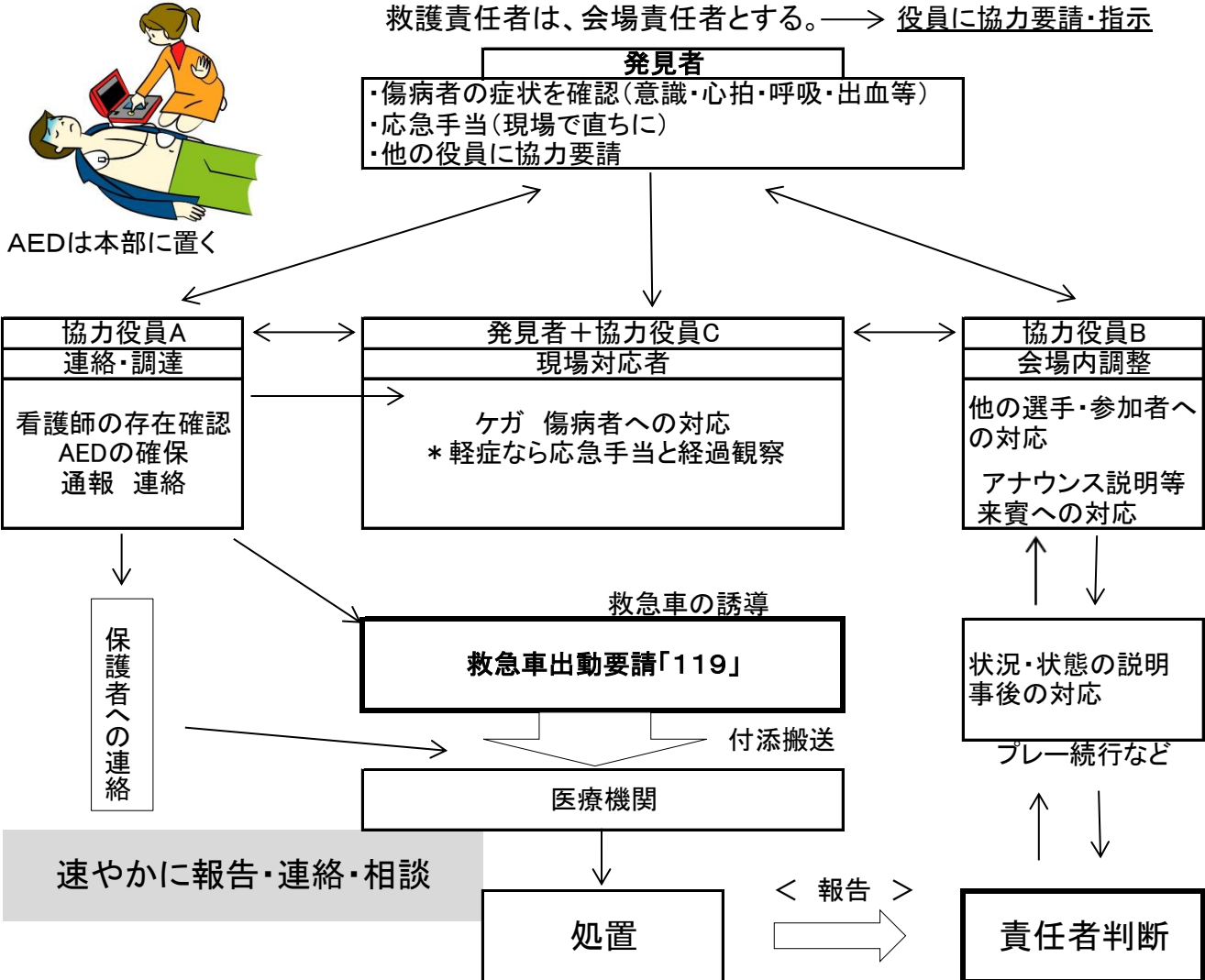


事前情報の収集

< 現場・会場についたら >

- ①看護師は？
- ②救急病院は？
- ③AEDは？
- ④避難場所・経路？
- ⑤気象情報の把握？

救護責任者は、会場責任者とする。→ 役員に協力要請・指示



* 選手の場合、病院での診察後、チーム代表に報告し、支部長に報告がいき、ブロック長へと伝達される。

球場(会場)責任者は、救護責任者として役員の協力を得て対応する。連絡・相談・報告の徹底
 ブロック連絡網・支部連絡網を有効利用する。
 支部行事は、支部長が責任を持って対応できる体制を作ること。

* 状況が落ち着いたら、記録をまとめる。ブロック長に報告し、全役員に伝達する。

万一の時の対応が組織の力と判断されるので、いつでもどこでも、即時対応のできる心構えと準備を！

* チーム内 選手・役員の健康状態の把握、会場への輸送手段の安全確保、渋滞・気象情報など収集
 * 役員間の健康状態の把握 (特に常備薬やインフルエンザなど)は重要な情報。助け合いと支えあい。
 連絡先: 会場責任者 (- -) 消防署119 警察110 AEDの場所